

# 精華町立 精北小学校



所在地 京都府相楽郡精華町大字下狛小字河原田 4 4 番地  
電話 0774-93-0231 郵便番号 619-0245  
F A X 0774-93-0230  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seihoku-es/>

## 精北小学校 校歌

作詞 初代教職員

作曲 森本 陽三郎

みわたす やまなみ みどりのだい ち  
きぼうに あふれる けんじのこえ が  
きづの かわもに おどってはね る せいほくしょう  
は こどものそのよ さあきたえよう

### 精北小学校校歌

作詞 初代教職員  
作曲 森本 陽三郎

一 見わたす山脈 みどりの大地  
希望にあふれる 健児の声が  
木津の川面に おどってはねる  
精北小は 児童の園よ  
さあ 鍛えよう

二 開ける町に なりひびく鐘  
平和を希う みんなの歌が  
広い野原にこだまする  
精北小は 学びの園よ  
さあ 励もう

三 高い青空 輝く校舎  
明日の世界を 築く仲間が  
つなぐ手と手に 理想をめざす  
精北小は 未来の園よ  
さあ 創ろう

## 1. 学校の沿革

- 昭 53. 4. 1 精華町立精北小学校開校  
6. 2 精北小学校育友会設立  
12. 25 小鳥飼育小屋完成  
54. 2. 28 校歌制定  
3. 20 校歌碑建立 碧空像完成  
56. 3. 20 校門南側庭園整備  
3. 31 大気汚染測定庫設置  
57. 3. 20 玄関上校章設置  
58. 3. 20 バラ園造園  
59. 3. 20 南校舎南側黄金ヒバ植樹  
61. 4. 5 ソテツ大樹植栽  
62. 3. 20 方位石設置、露場完成  
11. 1 創立十周年記念事業実施  
63. 2. 29 6教室及び多目的ホール増築完成  
10. 16 第43回国民体育大会（ソフトボール成人女子）開始式に参加  
63.～平成 府研究指定校（合科）  
平 3.～5. 社会福祉協力校（福祉教育実践校）  
4. うさぎ・ニワトリ小屋完成  
7. 学校文化・芸術祭教育美術展覧会・南部地方展覧会場校  
10. 2. 22 創立二十周年記念事業  
11. 4. 1 情緒障害児学級開設  
11. コンピュータ教室（情報教育室）設置  
12. 北校舎大規模改修工事、体育館耐震工事、プール改修工事  
13. 南校舎、給食室大規模改修工事  
14. 10. 31 全特連全国大会（京都府大会）公開授業・分科会会場校  
15. 観察池改修  
15. 音楽教室に空調設備設置  
16. 4. 1 京都府キャリア教育推進地域指定事業実践協力校指定  
18. 4. 1 特別支援教育充実事業に係る研究実践校指定  
19. 10. 27 創立三十周年記念事業  
21. 体育館大規模改修工事  
22. ～ 京都府教育委員会指定「もうすぐ1年生」体験入学推進事業実践  
23. ～24. 京都府山城教育局「特別支援教育充実事業（やましろ未来っ子）」研究推進校指定  
25. ～27. 京都府小学校教育研究会「総合的な学習の時間」研究協力校  
28. 2. 屋内運動場太陽光発電設備設置  
29. 5. 24 創立四十周年記念事業  
30. 12 普通教室に空調設備設置  
令 3. 2. 京都府山城教育局・山城地方学力向上対策会議「令和2年度学力向上を目指す実践事例」発表  
3. 4. 京都府山城教育局「山城地方学校力向上トライアル校」指定  
3. 4. 京都府山城教育局「特別支援教育充実事業（やましろ未来っ子）」研究推進校指定  
3. 10. 南校舎トイレ改修工事  
令 4. 11. 北校舎トイレ改修工事

## 2. 学校教育方針

### 1. 経営方針

- (1) 「第2期京都府教育振興プラン」の理念や「精華町教育大綱」による「学校教育指導の重点」「せいか学びと育ち」を踏まえ、児童の実態を把握し、教育の課題を明らかにして、家庭・地域と協力して包み込まれているという感覚を実感できる教育を進め、主体的に生き抜く創造性あふれる心豊かなたくましい児童を育成する。
- (2) 教育目標具現のため、情報・目標を共有し、計画的・継続的な取組を組織的に行い、保護者・地域住民から信頼される魅力的な学校をつくる。

### 2. 教育目標

『生きる力（「確かな学力・豊かな人間性・健やかな心と体」）をはぐくむ

### 3. めざす児童像

- (1) 深く考え進んで実行する子
- (2) やさしく仲間を大切にする子
- (3) たくましく粘り強く取り組む子

### 4. めざす学校像

- (1) 児童が生き生きと学び合える魅力ある楽しい学校
- (2) 児童一人一人を大切にされた教育を実践する学校
- (3) 教育目標具現のため、教職員がチームとして計画的、組織的に取り組む学校
- (4) 保護者・地域住民の信頼を高める学校

### 5. 指導の重点

- (1) 基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進
  - ① 確かな学力の育成と一人一人の可能性を引き出す教育の充実
    - ア 学習指導要領の趣旨に沿った教育活動の推進及び定着
    - イ 学ぶことが楽しい、また、学ぶ意欲を感じている児童の増加
    - ウ 授業スタイルの統一と多くの研究授業を実施し、魅力ある授業の創造
    - エ 各学力テスト等を活用し、基礎学力を向上させる取組の組織化
    - オ 全学年の補充学習の充実
    - カ 教員一人一人のカリキュラム・マネジメントの充実及び社会に開かれた教育課程の実現
  - ② 教職員個々の創造性を発揮するとともに、相互のよさに学び合う開かれた学年・学級経営の推進
    - ア 個々の児童の確かな理解と個性の伸長に基づく居場所づくりの推進
    - イ 互いに学び合い、高め合う集団づくり
    - エ 個々の児童の個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善
  - ③ 発達障がいを含む障がいのある児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
    - ア 校内委員会の機能的な活用に基づく、児童支援の校内体制の充実
    - イ 個々の児童の個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善

(2) 豊かな人間性を育む教育の推進

- ① 道徳の推進体制づくりと挨拶運動など体験的活動を通じた道徳的実践
  - ア 心に響く道徳の時間の指導を充実させるための研究の推進
  - イ 自ら進んで挨拶を行う児童の育成と、きまりを守る規範意識の向上
- ② 生命の尊厳と人権を尊重する態度や実践力を育てる教育の充実
  - ア 互いの個性や価値観の違いを認め、尊重する態度を養う人権教育の推進
  - イ 思いやりの心の育成と、認め合い励まし合う人間関係を築く学年・学級経営
- ③ 生徒指導の三機能を生かした、児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図る生徒指導の推進
  - ア 本校の生徒指導のルール（わたしたちのくらし）に基づく指導の徹底
  - イ いじめ・不登校等の早期発見・早期対応のできる指導体制の確立と教育相談機能の充実
- ④ 「安心・安全な学校」として様々な危機に対応できる危機管理能力の日常的な向上と、避難訓練等を通じた児童の危機対応能力の育成
  - ア 身近な危険の予知・回避を高める能力や態度を育てる安全教育・管理の充実
  - イ 交通安全や災害などの発達段階に応じた基本知識の習得
  - ウ 避難訓練の内容の充実と計画的な実施
- ⑤ 我が国の伝統・文化を尊重し、諸外国の伝統・文化を理解するとともに、国際社会に生きる日本人としての基礎的な資質の育成
  - ア 出前授業の充実と各教科等との関連を生かした体験的な学習の充実
  - イ 外国語科(英語：5・6年)及び外国語活動(3・4年)の充実
  - ウ 本校の伝統である大正琴の学習(4～6年)及び地域貢献活動の実施
- ⑦ 関西文化学術研究都市を活かした教育活動の推進
  - ア 理科を中心とした出前授業や体験学習の充実
  - イ 農業体験学習や福祉体験活動等の充実
  - ウ 地域学習を年間計画に位置付け、地域を学び、活かす教育の実施
- ⑧ 情報及び情報通信手段を主体的に選択して、ICTを効果的に活用し、発信する能力と態度の育成
  - ア 児童の発達段階や各教科等の学習内容と関連付けた情報教育の推進
  - イ プライバシーや著作権の保護などの情報モラルやマナーの育成
  - ウ 個別最適な学びと協働的な学びの推進に向けた、一人一台端末の日常的な活用

(3) 教職員の資質能力の向上

- ① 教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、豊かな識見と専門性に基づく自己の資質・能力の向上
  - ア 「チーム精北」を意識した、教職員一人一人の学校経営参画意識を明確にした教育の推進
  - イ 生徒指導事象に対する、正確な事実確認に基づく、組織的な指導・保護者対応の実施
  - ウ 組織的な文書管理体制の確立と遵法意識による職務遂行
  - エ 新聞報道等を活用した日常的な教職員のコンプライアンス意識や危機管理意識の

## 高揚及び研修の実施

- ② 社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられる力量を向上させるための教職員研修の充実
  - ア 研究授業を要とした、教員の力量を高める効果的な研修の実施
  - イ 教職員の人権教育に係る認識の深化及び人権感覚の高揚に向けた研修の充実
  - ウ 働き方改革の推進及び組織的な生徒指導体制を充実させ、働きやすい職場環境を作る
  
- ③ 学校評価を学校経営の中心に据えた「信頼される学校」、「地域とともにある学校づくり」の推進
  - ア 学校評価アンケートの結果に基づいた、計画的・組織的な教育活動の実施
  - イ 年3回の学校運営協議会及び授業参観・オープンスクール、スクールヘルパー交流会の実施
  - ウ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の効果的な運営
  - エ 警報発表等の緊急な事態に対するPTAメールの活用
  - オ 保護者の目線に立った学校行事等の工夫
  - カ 学校ホームページの日々の更新及び内容の充実

## 6. 研究主題（算数科）

- 「できない」を「できる」に変える授業や教育環境の創造  
～ ひとりでも「できる」をふやすために授業を改善しよう ～

### 3. 児 童 数 (5月1日現在)

#### (1) 学年別・学級別児童数

学 年 組	特別支援学級 あおぞら			1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合 計
	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
男 子	4	4	4	12	11	16	18	12	12	16	16	15	14	16	15	185
女 子	1	0	1	14	15	16	14	18	19	14	14	14	15	11	12	178
小 計	5	4	5	26	26	32	32	30	31	30	30	29	29	27	27	363
合 計	14			52		64		61		60		58		54		363
家 庭 数	12			25		39		38		46		54		53		267

#### (2) 地域別児童数

地 域	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
里	1	1	1	2	2	1	8
僧 坊	18	16	14	25	18	16	107
舟	15	19	16	15	16	10	91
旭	0	1	0	0	0	0	1
滝ノ鼻	14	16	27	17	12	16	102
菱 田	5	10	7	3	10	11	46
中久保田	1	1	1	0	3	2	8
合 計	54	64	66	62	61	56	363

#### 4. 教職員一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	校務分掌
校長	池田 善樹		学校運営
教頭	田村 琴恵		学校運営
主幹教諭	川崎 敦彦	教務	教務主任、生徒指導副主任
教諭	松田 実希	あおぞら1組	図書館教育、特別支援教育コーディネーター
講師	林田 貴美	あおぞら2組	国語科、福祉教育
講師	森 嵩晴	あおぞら3組	環境教育、社会科
教諭	山戸 智恵	1年1組	人権教育、体育科
教諭	相良 絵美香	1年2組	生活科、福祉教育
教諭	河島 千都世	2年1組	音楽科、学力充実
教諭	藤井 加奈	2年2組	体育科、健康安全教育
教諭	小野田 真優	3年1組	理科、総合的な学習の時間、国際理解
教諭	鷺頭 麻那	3年2組	外国語活動、外国語、情報教育
教諭	田中 啓太	4年1組	研究主任、社会科、学力充実
教諭	古谷 美来	4年2組	図画工作科、食育
教諭	西崎 由貴	5年1組	生徒指導、図画工作科
教諭	大谷 祐介	5年2組	算数科、道徳、情報教育
教諭	井上 雄二	6年1組	特別活動、キャリア教育
教諭	北澤 寿々子	6年2組	家庭科、健康安全
教諭	田中 はる奈	通級指導	特別支援教育
小中連携教員	出田 育也		(精華町立精華中学校教諭)
非常勤講師	松藤 友子		主幹補助
非常勤講師	河原 陽子		2年生補助、町特別支援員
非常勤講師	平岡 佳奈		2年生補助、町介助員、心の居場所サポーター
教員業務支援員	高橋 希美		
まなび・生活アドバイザー	高橋 洋子		
養護教諭	山口 知加子		健康安全教育、教育相談、生徒指導
事務職員	辻 尚子		学校事務
給食調理員	松久 真生		給食調理
給食調理員	岡本 淳子		給食調理
学校図書館司書	梶 さつき		学校図書館運営
スクールカウンセラー	松尾 郁美		
学校医	藤木 健吾		
学校歯科医	新司 一弘		
学校薬剤師	中村 政美		

## 5. 学校行事計画

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	1年生を迎える会 文化鑑賞会		6年生を送る会
健康安全 体 育	身体測定（身長・体重） 避難指導（火災・地震・ 風水害） 交通安全教室 薬物乱用防止教室 非行防止教室 陸上運動交歓記録会（6年）	身体測定（身長・体重） 視力検査・聴力検査 マラソン前検診 内科眼科歯科耳鼻科検診 検尿 心電図検査 避難訓練（地震） 運動会 持久走大会	身体測定（身長・体重） 視力検査 避難訓練（不審者対応）
遠足集団 宿 泊	修学旅行（6年） 林間学習（5年）		
勤労生産 奉 仕	大掃除	大掃除	卒業式準備 大掃除



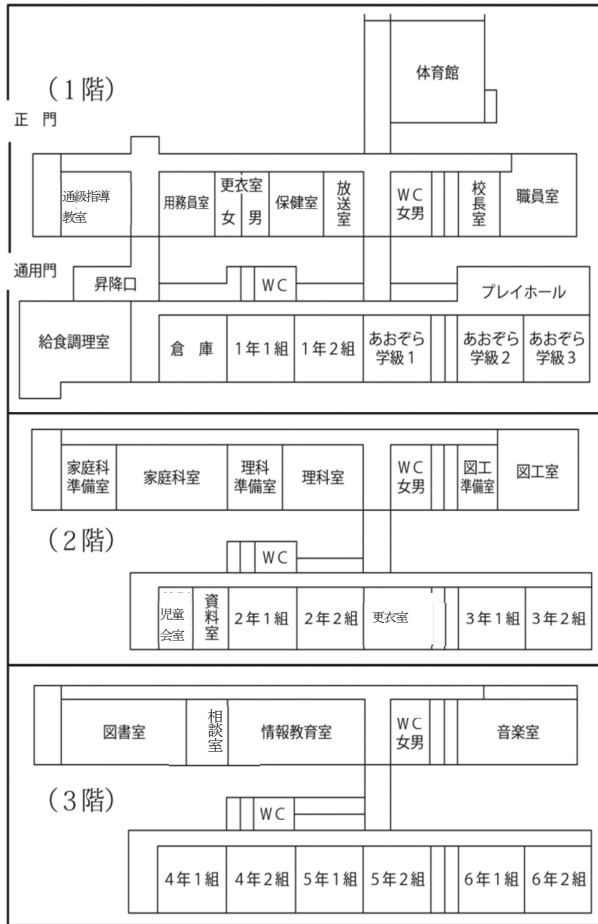
## 6. P T A

- (1) 本年度の活動目標  
学校・家庭・地域の一層の連携を図り、子どもたちの安全を守ると共に、豊かな心を育み、健やかな成長を目指す。
- (2) 本年度の活動方針
- ① P T A本部と各委員会の調整、積極的な支援などを図り、P T A活動の一層の充実を目指す。
  - ② 役員会主催の行事を通して、親子、会員相互の親睦を図る。
  - ③ 会員が家庭教育・人権教育等を研修する機会を設ける。
  - ④ 関連する対外的事業や研修会等への参加を通して、より多くの知識や情報を得る。

## 7. 学校運営協議会委員

氏 名
安 宅 吉 昭
吉 川 博 文
大 竹 尚 恵
岡 井 紅 仁
池 田 善 樹
田 村 琴 恵
川 崎 敦 彦

## 8. 学校施設



校地面積 30,101 m<sup>2</sup>  
 校舎面積 6,995 m<sup>2</sup>  
 体育館 626 m<sup>2</sup>  
 運動場 10,267 m<sup>2</sup>  
 プール 25m×5 コース、  
 10m×4 コース

